



# Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ! 自分に奉仕! そして、ロータリーを楽しもう!」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

## 会員数83名

## 今週のお祝い

夫人誕生祝: 10日 松本敬君 15日 赤木勇夫君  
30日 藤尾信之君

## 会長挨拶

皆さんこんにちは、お帰りなさい。  
先週はお盆でございまして、皆さん方はお墓参り暑中大変だったと思います。また、オリンピックも終了しました。さて、今日のお客様でございますが、交換派遣留学生のウィリアム・リチャード・ジョンソン君でございます。もう一方はホストファミリーの大塚様でございます。

簡単にウィリアム君のご紹介をしますと、ハイスクールは卒業しております。ケンタッキー州6740地区より派遣されております。さて、先週大塚美月さんの派遣先にお礼かたがた挨拶文を送っておきました。お盆の13日に携帯が鳴りまして、ウィリアム君が16日に来ることに決まったよと連絡が入りました。16日の羽田米子最終便で到着しましたが、若いですが流石に20時間の長旅に相当くたびれた様子でしたので簡単に挨拶をして大塚家に連れて帰っていただきました。嬉しい事に美月さんの弟君がウエルカムボードを作って来てくれましたし、アメリカからお兄さんがやって来るという事で非常に楽しそうにしていました。その後17日に伯耆町役場に出向きまして住民登録をし、国民健康保険の手続きをしました。20日に松蔭高校で制服や教科書の段取りを済ませました。先ほど大塚さんに地元の夏祭りにも参加したということで、早速日本の伝統行事にも触れたということで良かったなと思います。

愈々1年間の留學生活が始まるわけでございますけど本人も大変、受けるクラブというよりもホストファミリーが大変だと思います。ウィリアム君とホストファミリーに対してクラブがしっかり支援していくことが大切でないかなと思っております。実際に支援を提供していく体制をつくと同時に実際に支

援を行っていくわけでございます。中にはいろいろと皆様にご無理を申し上げると思っておりますけれども、その時にはどうか宜しく願い申し上げます。ホストファミリーの2軒目もまだ決まっておりますませんが、御覧のとおり面白い子でございます。また、原則毎月第一例会に参りますので、是非ホストファミリーをやってみようかと思われた方は、永島委員長までご一報をお願いしたいと思います。私もそのうち土日に大山町に招いて楽しみたいと思っております。大変ではありますけどこういうチャンスは中々ありませんので、皆さんでこのプログラムに参加していただいで楽しんでいただく、あまり悩まないでウィリアム君と一緒に楽しむ1年でありたいと思っております。後ほど本人からご挨拶があると思います。また、学業支援金の授与もいたします。以上です、ありがとうございました。

## 幹事報告

1. 青少年交換受入学生William Richard JOHNSON 君(RID6740 USAケンタッキー州) 8/16 米子空港着
2. 9月ロータリーレート1ドル80円
3. ネパール奨学支援プロジェクトのお願い  
さいたまユネスコ協会より
4. 例会変更のお知らせ  
米子南RC8/27(月)夜間例会 ビジター受付あり  
倉吉 8/28(火) " " "  
鳥取西 8/31(金)⇒8/30(木)ガバナー公式訪問(夜間例会)に変更 ビジター受付あり



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

## < プログラム > 「私の職業」

### 笠尾幸広 会員



4月4日に入会させていただきました笠尾ゆきひろと申します。本日は卓話ということで宜しくお願いいたします。前回の例会の会長のお話の中にもありましたとおり新しいメンバーが入ってくると、名前と顔が一致しないという事がありますので、少し自分の生い立ちとか言うものをご紹介させていただいてから、仕事の事を話させていただきます。

1971年2月25日に生まれ現在41歳でございます。小さい頃、親父がサラリーマンと云う事もありまして、京都にいたのですが、独立するということで米子に戻ってまいりました。小さい頃は今の観音寺に住んでおりまして、周りは今でこそ区画整理されて住宅街になっておりますが、昔は田んぼと畑しかない本当に田舎でした。その田んぼで野球したり畑を走り回っていたのを思い出します。テレビを見ていると巨人戦をやってみて、この頃から野球に興味を持つようになりました。漠然と小さい頃プロ野球の選手になりたいという夢をもって小学校に入り、4年生から少年野球に入りました。入ってすぐにどこのポジションがやりたいか聞かれるのですが、やはり投手で4番が一番カッコいいなと思ってピッチャーをやり始めました。小学校の時は体格も大きくなかったのでこれといった成績は残さないまま中学校に上がりました。小学校の時、親父は野球はしてないんですが結構スパルタ教育でした。家業はクリーニングをしてまして、今はあまりないのですが昔は絨毯の凄いのが出されていまして、それを竹竿に干すのですがそれに向かってよくTバッティングさせられました。自宅と工場が隣接してましたので昼夜関係なくスパルタでやらされてました。田舎ですんで空き地はありましたからよくピッチング練習をさせられました。中学校にあがってもなかなかぱっとした成績も残さずに、プロ野球選手になりたいという夢もありましたが、やはり高校では甲子園に出たいという高校球児としての夢もありましたので、ここでひとつの岐路に立ちました。どこの高校に行こうかと考えた時に、その頃は西部地区はどれも結構強かったんで、どこに行ってもそんなには変わらないかなと思ったんですが、その頃各中学校で活躍していた仲間達が声を掛け合って、皆でどこに行こうかと決める事になった時、米子商業高校に皆で行こうという事になり結局僕は特待生で行くことになりました。西部地区のいい選手達が米子商業に集まったものですから、甲子園に行けるチャンスは6回あって最低4回は行けるだろうと安易な考えでいました。ところが、2年の秋も境に負け3年の春は米子東に負け、ずっと勝てなかったものですから夏も半分諦めて、負けたら海にでも行って皆で遊ぼうやと言っていたのですが、実際最後の夏の大会が始まったら、あれよあれよと言う間に勝っていきまして、決勝も相手は米子東だったんですが見事勝ちまして初めての甲子園出場となりました。

僕が高校1年の時に天理高校が全国優勝したんですが、その時にワールドウイングという鳥取にあるジムの小山さんという人が天理高校でトレーニングを指導されていまして。高校2年の時にそのジムが米子にも出来まして、学校の練習が終わってからそこに通って一生懸命に頑張りました。それまでバッティングでも良い成績を残してなかったんですが、3年の春位から急にホームランが出るようになりまして、地道な努力が実ったのかなと思っています。甲子園には出れると思っていなかったんですが、大学には行きたかったんで、学校では配慮いただいて簿記の時間に大学の受験勉強をさせていただいたりしてました。が、甲子園に出た事によって全てが一変しました。甲子園で初戦に勝った時に法政大学からお誘いの連絡を頂きまして、それがもとで入学させていただきました。何かと野球に助けられた人生だなと思っています。

法政大学に入りましたら、そうそうたるメンバーでした。PL学園で桑田清原の時に優勝されたメンバーの黒木さんという外野手とかも結局補欠でした。凄いとこに入ってしまったなと思って練習しているうちに、この人達も自分たちと変わらないなと思うようになりました。当時は情報の少ない時代だったので、他の選手のことを見るのがなかったのですが、大学に入ってから、テレビで見ていた時に凄く有名だと思っていた選手でも、実際やってみたらそんなに変わらないんだなと言う事に気づいて、俄然頑張る気が出てきて一生懸命やりました。法政大学では、監督が探ってきた選手は寮に入り、OBや前監督が声を掛けた選手はアパートを借りて通い組ということでした。僕は通い組のほうだったんですが、通い組はあまりチャンスも無く練習もあまりさせてもらえないような感じだったんです。2年生に上がった時に監督が替わりまして、昔の南海ホークスの鶴岡さんの息子さんが監督になりました。その人に目を掛けていただいてなんとかベンチに入れてもらったり、3年から寮に入れてもらったりするようになって、4年でレギュラーとして試合に出れるようになりました。

大学卒業後は王子製紙に入社し野球を続けたわけですがここにもひとつの人生の岐路がありました。プロに行きたいという目標があり、また東京の社会人の強いチームに声を掛けて頂いたりしていたんですが、米子の王子製紙に大卒の選手がまだ一人も居なかった事もあり、父親の意向もあって戻って来ることになりました。僕自身は三菱自動車川崎に本当は行きたかったんですが、野球終わってから米子に戻る宛でもありませんでしたので親の言うとおりに帰ってきたわけでありまして。ですが1998年に王子製紙米子の野球部が廃部になると同時に翌年の4月にそこを退職しまして、父親のやっていますクリーニング屋「大装」に入り、今、後を継いでいる訳であります。

会社の紹介をさせていただきますと、父親は会社務めでしたが、僕が幼稚園くらいのときに独立するために京都から米子へ帰ってまいりました。昭和53年4月にクリーニング屋を開業しまして、最初の頃は個人でずっとやっていました。その頃は布団や重たい絨毯がメインでずっとやっていましたが、平成元年11月に有限会社化すると同時に、ホテルのシーツなどのリネンサプライという事業も新たに始めまして現在に至っております。なかなか今クリーニング業界というのは、家庭で洗える物が増えてきましたし、布団、絨毯、カーペットなどもクリーニングに出

すより買い換えたほうが安いと言う物もありますので、厳しい業界ではございますが、僕も平成19年の3月に社長になりまして頑張っております。業務相手でございますので皆様との個人的なお付き合いというのがあまり無いんですが、勿論個人のお取引もいたしますので、もしも絨毯、布団、カーペットその他、ただし服は扱っておりませんが、ご用件がございましたら是非ともお声掛けいただきたいと思います。以上で卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

赤山 俊寛 会員



5月から入会させていただきました。現在米子市夜見町国道431、鉄工団地入り口のスーパーいしかわ等の商業施設の集積する一角で「(有)アイエステート」という不動産業を営んでおります。私は十数年米子市内の某不動産会社に勤務しておりましたが、平成15年3月に退職いたしまして、4月にアイエステートを設立いたしました。今年で丁度創業10年目になります。

一言で不動産業と申しましてその範囲は広くて、分譲地等の開発、土地建物等の売買仲介、アパート借家等の賃貸仲介管理などがあります。当社は主に土地建物等の賃貸仲介をメインとしてその他中古住宅等の買取をおこなっております。不動産業は情報量と鮮度が命とよく言われます。よって物件の情報管理には細心の注意を払っております。鳥取県西部地区の売買物件情報は、概ね400件以上の物件資料を適切にお出しする事が可能です。また当社のホームページからも希望条件によって物件の検索を容易に行うことが出来ます。

最近ではスマートフォンも普及してきましたので、それに対応したホームページにしました。また、フェイスブック、ブログ、ツイッター、ソーシャルネットワークサービスにも力を入れております。私は所謂不動産屋ですが、社外でのお客様にはよく銀行員に間違われます。そして不動産屋には見えないねと言われます。父がJAの職員だったせいか、子供の頃から見ていた父のイメージが自分に現れているのかなと思います。そのように言われると、私自身が不動産屋だからよく分かりませんが、どのような姿が不動産屋のイメージなんだろうかと思うこともあります。私見ですが、不動産業というと世間一般では派手なイメージがある職業ではないかと思っています。しかし私の場合は日常的な業務では、地道に行っているものが多いです。例えば物件の売却依頼があれば、現地に行って調査し、またヒヤリングを行い、法務局や役所間を回って説明をしたり、図面をしたりとこれだけでも半日位はかかります。そしてきちんとお渡しする調査事項をパソコンで作成する。こういった地味な業務はあまり世間的にはイメージとして不動産業にありません。また近年では不動産だけでなく、それ以外の相談も受ける事が多くなってきていますので、勉強した知識がお客様のためになればという思いで、昨年2級ファイナンシャルプランナーの資格を取得しました。法律の関係上、個別具体的なものでなく、一般論でしかお話しできない場合もありますが、専門家と連携してお客様にお答えいたします。最後に皆様や皆様のお知り合いの方で、不動産についてお悩みをお持ちの方があれば、当社へと御指名頂ければ、これまでの私の経験と知識を駆使しましてアドバイスを差し上げたいと思います。これからも宜しくお願いいたします。本日はこのような誠に貴重な時間を頂き、ありがとうございました。

青少年交換 受入学生 William Richard JOHNSON 君 例会初参加



派遣地区  
RID 6740 USA  
(ケンタッキー州)  
スポンサークラブ  
Georgetown RC

次回プログラム

8/29 「私の職業」 古杉 淳 会員、高田 剛 会員  
9/5 「ロータリーの友」紹介、「私の職業」 大濱宏一 会員

今後の行事予定

9/12 第1回家庭集会 (王子倶楽部)	10/10 第2回家庭集会
9/23 第2グループ親睦ゴルフ大会 (大山平原ゴルフクラブ)	10/26 地区大会記念チャリティゴルフ大会 (倉敷カントリー倶楽部)
9/26 観月夜間例会 (大山ロイヤルホテル)	10/28 地区大会 (倉敷市民会館)